

第1章

総務課の仕事

総務課の仕事

自治体の仕事は、窓口業務、許可可業務、苦情処理業務など、市民サービスに直接かかわるものが多い。こうした仕事を担うセクションが原課やライン部門などといわれる部局である。

これに対して、総務課は、管理・スタッフ部門に位置づけられる。直接市民と接する場面は少なく、各セクションの仕事が効果的・効率的に行われるよう、組織対応や職員対応を中心とする間接的な仕事を主に担う。

縦割り組織である原課が相互に連携しつつ十分に機能していくために、総務課は大きな使命を負っていると言っても過言ではない。まして、近年の複雑多様化する行政需要に対応するためには、各部局間の隙間を埋めつつ、市民の負託に的確に応えなければならない。総務課の役割は重いのである。そういった視点から、後に述べるように総務課の仕事は様変わりしつつある。

総務課は、財政課や企画課などと並んで、エリート的な位置づけをもって職員間で認識されていることが少なくないと思われる。しかし、単にエリート意識で上から目線で仕事をするだけでは務まらないのである。

総務課の仕事は、大別すると、以下のように整理することができる。

1 管理業務

総務課は、各部局に共通・関連する事務の管理やとりまとめといった管理業務を担当する。

①庁舎管理

総務課の伝統的な仕事の一つが庁舎管理である。庁舎管理は、公有財産に関する長の総合調整権（地方自治法第二三八条の二）の下、長の専管事項として、「庁舎管理規則」を定め、これに基づき行われている。総務課は、庁舎の適正な使用についての庁内調整のほか、庁舎内での食堂の営業、物品販売、自動販売機の設置など行政財産の目的外使用許可（自治法第二三八条の四）を行っており、民間活動ともかかわりを持っている。

② 文書管理

文書管理も総務課の仕事の代名詞である。自治体が作成する文書は公文書であるが、その範囲は広く、例規文書（条例、規則等）、公示文書（公示、告示等）、令達文書（訓令、指令等）、法定許認可通知、証明書等のほか、行政機関間や市民への通知などの一般文書、さらには行政計画書、市民配布パンフレットなど多岐にわたる。これらの公文書の書式（フォーマット）、作成方法、決定手続などは、公文例規程 文書管理規程 事務決裁規程、公印規則などに定められ、自治体内の意思決定（決裁）も文書で行われる。また、対外的文書は原則として公印が必要となる。自治体では文書で仕事が行われ、文書で政策が進められる。これを文書主義と呼ぶ。こうした事務の管理を総務課が担っているが、近年、公文書管理システムや電子決裁の導入など文書管理の電子化も急速に進んでいる。

③ 法制管理

文書管理とも関連する総務課の仕事として、法制管理が挙げられる。法制管理とは、端的にいうと自治体の条例、規則、訓令等の例規の管理を行うものである。ただし、単に文書として物理的に管理するのみではなく、重要なのは、条例や規則等の内容を審査し、厳格な法令用語を用いることにより、法規範としての効力を確保するための、実質的な例規の制定や改廃の管理を行うことである。これを「法制執務」という。法制執務に熟練するには相当の年月を要し、高度に専門性が求められる業務と言ってよい。さらには、自治体の法執行や財務事務、あるいは制定

第2章

総務課のものがたり

episode 佐々木君、異動になる！

総務課と文書管理

1

▽①△

——総務課って何してるんだらう。

あしのべ市に採用されてから四年目となる佐々木雄太は、四月一日に市民課から総務課に異動となった。佐々木は、市民課で戸籍事務や住民基本台帳事務などに従事していたが、総務課については、郵便室での郵便物の受け渡しや、過去に数回、法務局に提出する文書に市長公印を押しに来たところというだけで、どのような仕事をしているのか具体的にはわからずなんとなく不安に思っていた。

佐々木は、総務課長の渡瀬昇わたせのぼるから総務係への配属を告げられ、

「大久保係長にいろいろと聞いてくれ」と総務係長の久保隼人おおくぼはやとを紹介された。

「よろしく。総務係がどんなことをやっているか知ってる？」

「すみません、よく知りません」

「じゃあ、まず主な業務を一通り説明しよう」全体像が見えない佐々木にはありがたい話だ。

「総務課総務係の業務は、部内の予算管理、市役所全体の文書管理、市長公印の管理、市議会との連絡調整、それから部内の庶務。市民課で経験してきた仕事とはちよつと違うと思う



けれど、市役所全体の業務を視野に入れて仕事を行うことが多いので、若いときにこの職場を経験しておくことはとてもいいことだと思うよ。佐々木君には主に文書管理業務を担当してもらうことになっているんだ」

——やっぱり印鑑の管理か
— と思いながら、佐々木は、

「よろしく願います」と頭を下げた。

▽ 2 ▽

佐々木は、大久保係長に連れられて総務係の別室である郵便室を訪れた。

「ここが市役所の郵便室。郵便局*1から送られてくる郵便物

*1 郵政民営化により郵便物の発送は郵便事業株式会社が行うこととなっているが、会話中の言葉なので一般的な「郵便局」を使用。